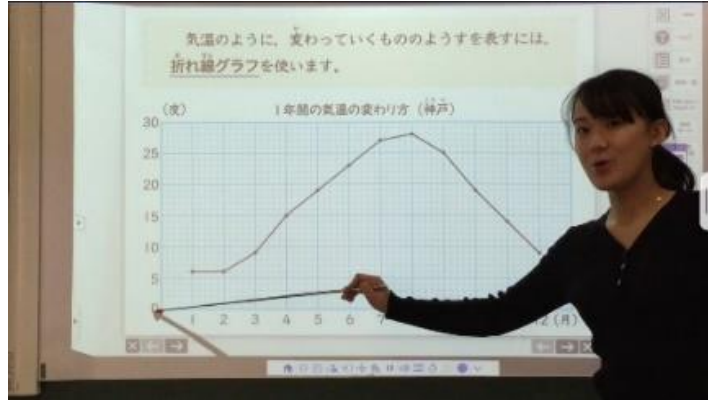


清泉小休校期間中の取り組み① 4年生

4月は算数と社会の授業を動画にして、「ロイノート・スクール」で発信しています。

算数

デジタル教科書を使いながら「折れ線グラフ」について説明している様子です。



「わり算」はパワーポイントで作成したスライドや、筆算の仕方を実際のノートに書きながら説明して、配信しました。

84 ÷ 3
10のかたまりとこのりてわかる。
① 8 ÷ 3 = 2あまり2 ② あまりの20とこのりの4で24
24 ÷ 3 = 8
20と8で28

① $96 \div 3 = 32$ ② $80 \div 4 = 20$

社会

興味関心を持って都道府県名、県庁所在地名を覚えられるよう、各都道府県の名産なども紹介しながら配信しています。

いばらき
茨城県
水戸市

茨城県と言えば...

かいらくえん
偕楽園

清泉小休校期間中の取り組み① 5年生

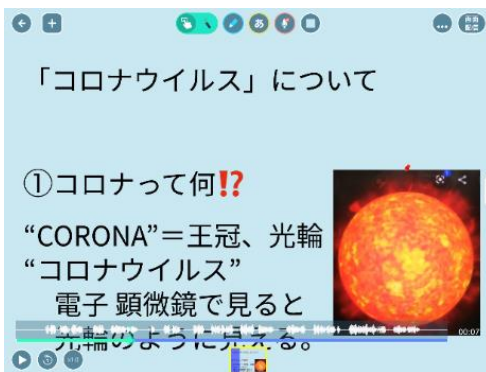
日常生活・学習のリズムを崩さないように、また、いつ学校が再開してもすぐに調子を取り戻せるように、「ICTを通して子ども達とつながっていきたい。」という願いを持って取り組んでいます。



「祈りには、力がある。」私達はそう信じています。朝のホームルームは「朝の祈り」「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」からスタートし、生活のリズムも整えています。学級会活動として、「クラスで大切にしたいこと」を考え、意見を出し合いました。友達の考えを知るということは、学校目標の「お友達を大切に」する第一歩です。



これは社会科のカード学習です。教師の説明をよく聞いてノートにまとめたり覚える練習をしたりすることで、休校によって大切な学習内容が抜け落ちてしまわないように学んでいます。



低学年の時に、調べたことを模造紙に書き込んでクラス全体にプレゼンしていた「朝の会の発表」。それをロイロノートのカードを使って行っています。自分が興味を持ったことについて本やインターネットを使って自由に調べ、まとめたものを共有しています。

学校はいつから始まりますか。クラブはいつからですか。

5月11日(月)に始業式の予定です。クラブはもっと後になりそうです。皆で「コロナウイルス感染症に苦しむ世界のためのお祈り」を続けてまいりましょうね。

質問コーナーでは、クラスの子も達とのつながりを意識して、学習面の質問以外にも生活面の疑問や不安にも答えるように努めています。

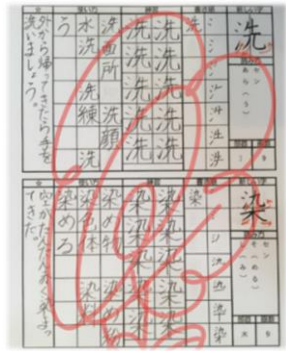
臨時休校になり、ICTを使って学ぶ場面が飛躍的に増えました。ICTの利用が子ども達にとって学びを深める道具になるように情報モラルについても勉強をしています。

清泉小休校期間中の取り組み① 6年生

6年生は『ロイロノート』を活用し、課題に取り組んでいます。教員と児童が課題を通してオンラインでつながっています。

国語 (1)漢字の学習

清泉オリジナルの漢字プリントを一週間ごとに取り組んでいます。課題を終えたら担任へ提出し、担任が丸付けを行います。児童は返却されたら確認し、直しが必要な場合は再度提出し、学校の授業と同じように漢字の学習に取り組むことができます。



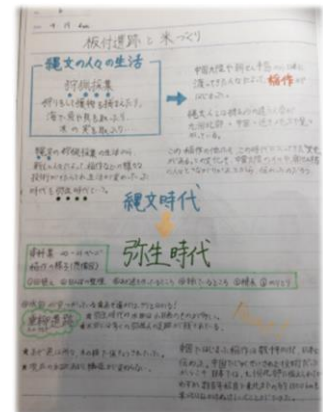
(2)教科書の学習



家でもできる学習の第一回として「音読」の授業を行いました。授業のスライドと音声を聞きながら、課題に取り組めます。お手本を聞き、読み方を練習してすらすらと読めるようになったら、自分の声を録音し、ロイロノート内に提出します。正しく読めているかを教員が聞き、コメントを書いて返却をしています。

社会 (1)歴史の学習

6年生の社会は歴史分野と公民分野に分かれます。休校期間中は、家庭学習のしやすい歴史の学習から始めました。一週間で3つのテーマごとに学習を進めています。毎週月曜日に教員の音声入りスライドショーの授業を配信しています。子ども達はその授業を聞きながら学習を進め、課題とノートを提出しています。



生活の様子



ロイロノート内のクラスごとの提出箱に、子ども達の一週間の生活の様子を提出してもらっています。毎日提出する子もいて活気のあるものになっています。また、クラスの全員が提出したカードを共有できるため、休校期間中でも子どもたち同士がつながることができる場となっています。

保護者の方からは、「子どもが意欲的に学習に取り組んでいる」「普段なかなか見られない授業を受けている様子がよくわかり、こちらアドバイスができ一緒に学習を進めることができありがたい。」「クラス全員が共有できる『生活の様子』の提出箱は、お友達の様子もわかり、学校とお友達とつながっていることを実感できて嬉しい。」などのお声をいただいております。教員の励みになっています。